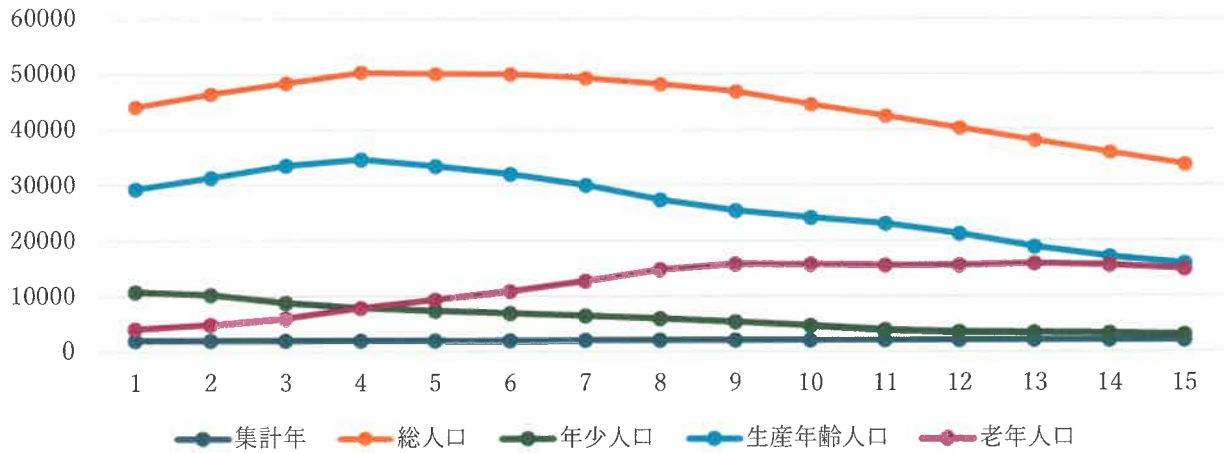


# RESASデータ (伊豆の国市)

## ●人口推移

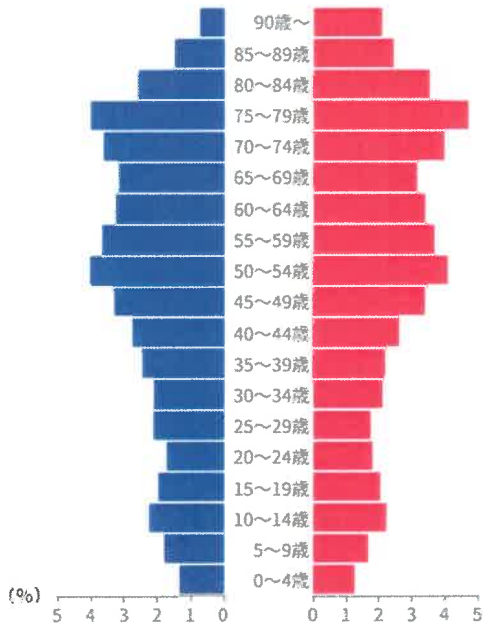
伊豆の国市



## ●人口ピラミッド

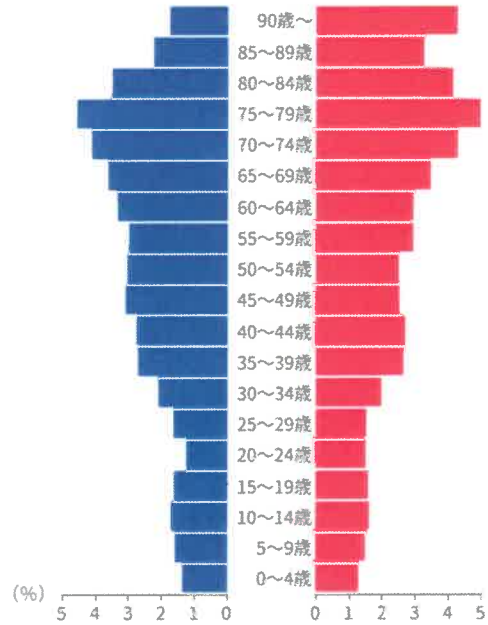
2025年

■ 男性 ■ 女性



2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口(65歳以上) : 15,699人 (35.32%)

生産年齢人口(15歳～64歳) : 24,097人 (54.21%)

年少人口(0歳～14歳) : 4,653人 (10.47%)

老年人口(65歳以上) : 14,805人 (44%)

生産年齢人口(15歳～64歳) : 15,822人 (47.02%)

年少人口(0歳～14歳) : 3,024人 (8.99%)

# ● 地域経済循環

## 地域経済循環分析

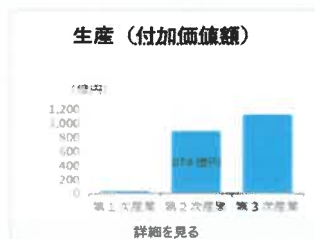
2022年  
指定地域:静岡県伊豆の国市

地域経済循環率  
99.7%

所得への分配  
2,004



所得からの支出  
2,010



支出による  
生産への還元  
2,004

### 【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

[地域経済循環分析\(環境省\)](#)

### 【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等により構成される。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合(域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合)は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的方法で作成している。

国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合がある。

## 付加価値額(一人当たり)

2022年  
指定地域:静岡県伊豆の国市

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額(一人当たり)	179万円	1,635万円	812万円
付加価値額(一人当たり)順位	1,313位	202位	821位

## 所得(一人当たり)

2022年  
指定地域:静岡県伊豆の国市

	雇用者所得	その他所得
所得(一人当たり)	246万円	191万円
所得(一人当たり)順位	538位	1,290位

## 支出流出率

2022年  
指定地域:静岡県伊豆の国市

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出率	-10.3%	8.5%	19.5%
支出流出率順位	1,144位	302位	246位

【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」

(株式会社価値総合研究所

(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

[地域経済循環分析\(環境省\)](#)

【注記】本データの詳細な分析方法については、

以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/reca/>

検索条件で条件を指定する

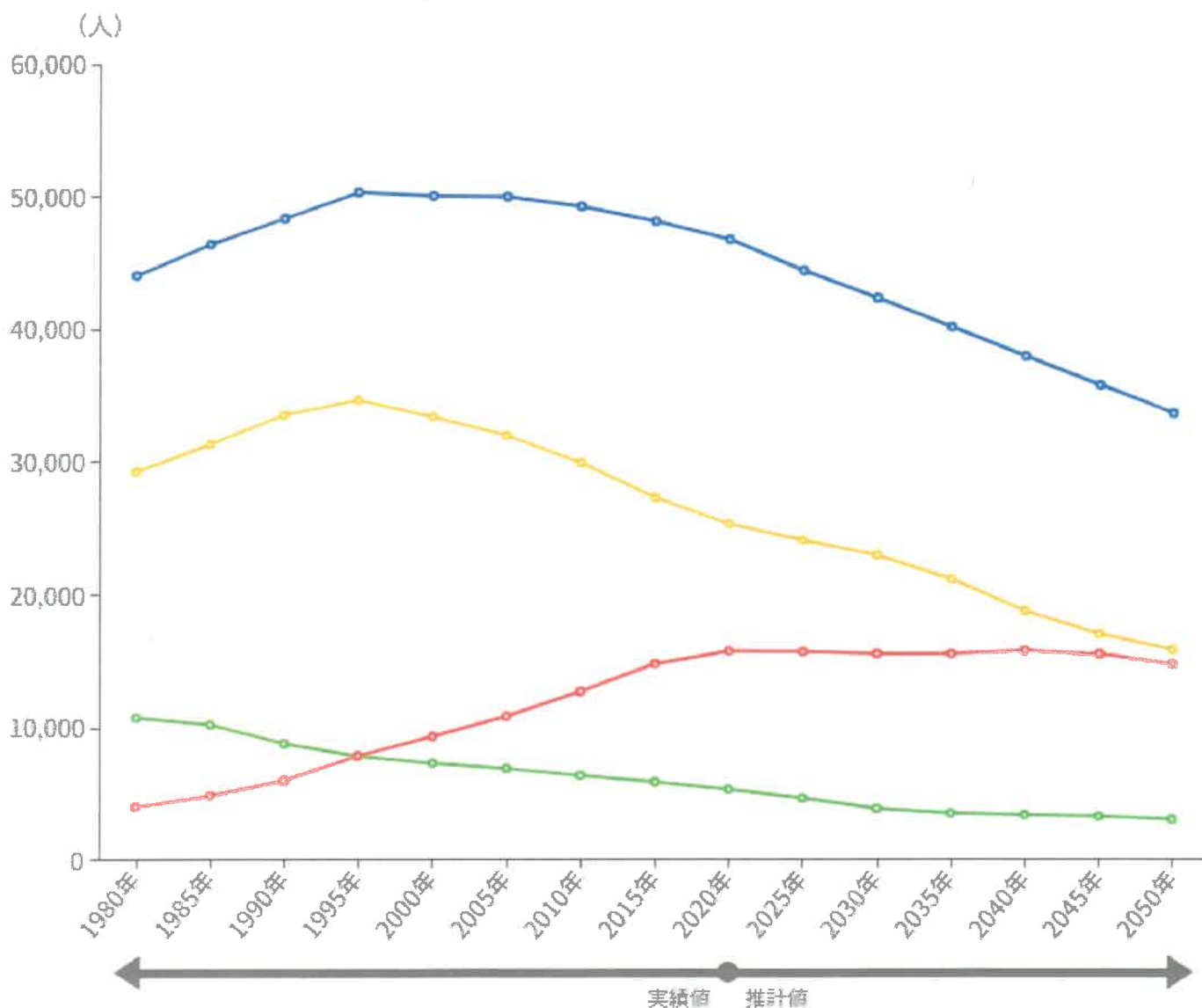
## 地域ビジネス環境分析シート

静岡県伊豆の国市

## ① 将来の人口増減

	2020年	→	2050年	増減数	増減率
総人口	46,804人	→	33,651人	-13,153人	-28.1%
年少人口	5,328人	→	3,024人	-2,304人	-43.2%
生産年齢人口	25,354人	→	15,822人	-9,532人	-37.6%
老年人口	15,750人	→	14,805人	-945人	-6.0%

● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口

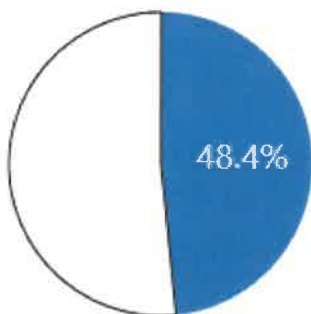


🔍 検索条件で条件を指定する

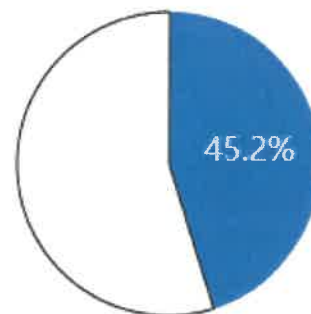
～人口増減によって影響を受ける生活関連ビジネス～

	事業所数			従業者数 (人)		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増
I_各種商品小売業	1	-	-	172	-	-
I_織物・衣服・身の回り品小売業	53	41	↓	160	154	↓
I_飲食料品小売業	138	122	↓	1,322	1,419	↑
I_機械器具小売業	58	60	↗	286	304	↗
I_その他の小売業	126	121	↓	630	607	↓
M_飲食店	290	229	↓	1,399	1,099	↓
M_持ち帰り・配達飲食サービス業	21	18	↓	136	158	↗
N_洗濯・理容・美容・浴場業	170	159	↓	362	340	↓
N_その他の生活関連サービス業	18	19	↗	62	52	↓
N_娯楽業	28	24	↓	454	354	↓
O_その他の教育, 学習支援業	62	60	↓	193	184	↓
P_医療業	113	102	↓	2,333	2,435	↗
P_社会保険・社会福祉・介護事業	49	52	↗	1,147	1,333	↗
	⋮	⋮		⋮	⋮	
※全産業（公務を除く）に占める割合	49.0%	48.4%		45.8%	45.2%	

全産業（公務を除く）に占める事業所数の割合（2021年）

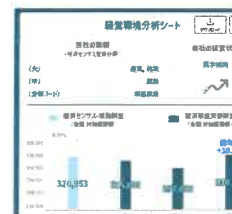


全産業（公務を除く）に占める従業者数の割合（2021年）



★ 各業種における業界動向を確認したいとき

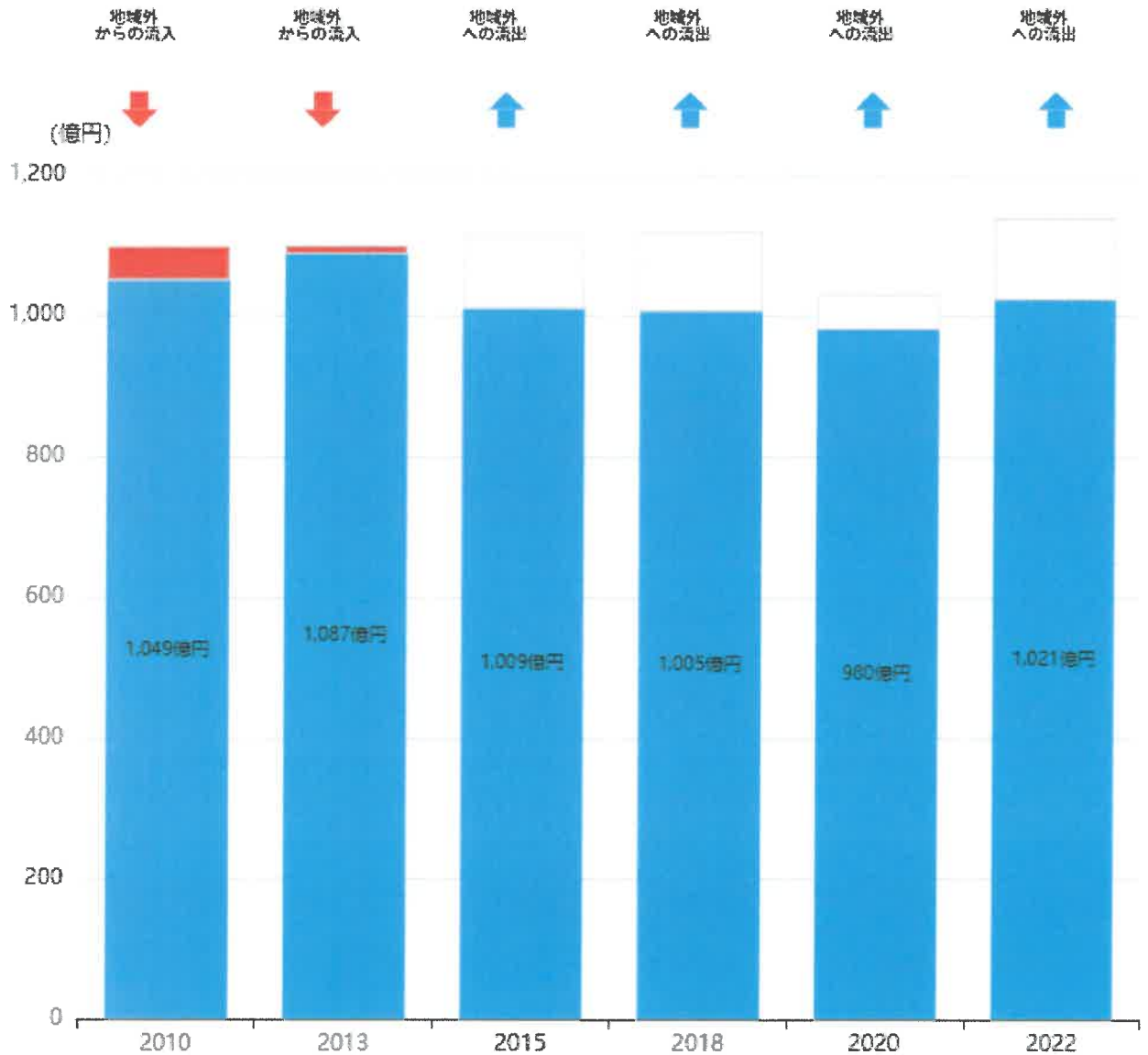
⇒ [経営環境分析](#)をみる



## 地域ビジネス環境分析

🔍 検索条件で条件を指定する

	2010	2013	2015	2018	2020	2022	年
地域内	1,049	1,087	1,009	1,005	980	1,021	億F
地域外（流入/流出）	49	12	-107	-114	-50	-117	億F
支出流出入率	4.6	1.1	-9.6	-10.2	-4.8	-10.3	%

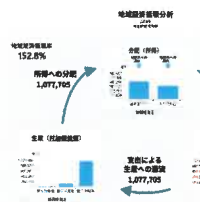


### グラフの色について

- 水色：域内で消費された金額を表します。
- 赤色：域外から流入した金額を表します。
- 白色：域外へ流出した金額を表します。

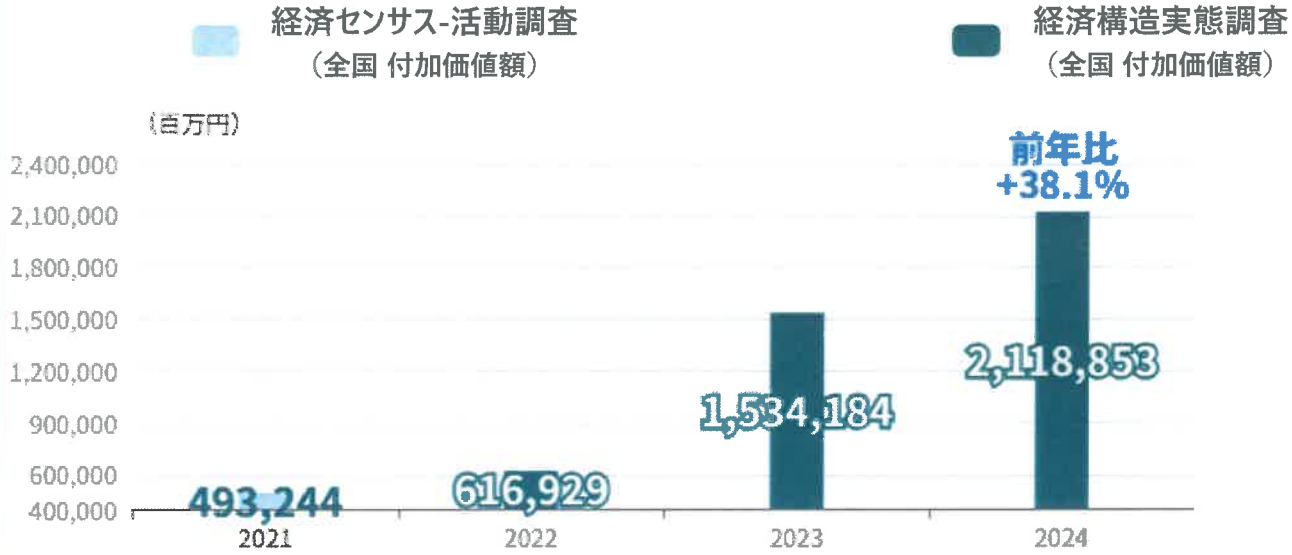
★ 地域経済の全体像を把握したいとき

⇒ [地域経済循環分析](#)をみる



🔍 検索条件で条件を指定する

(分類コード) 旅館、ホテル



経済センサス-活動調査は、5年に1度実施される個人経営含む全ての企業（一部除く）を対象とする調査です（実数値）。

経済構造実態調査は、経済センサス-活動調査の実施中間年における経済構造統計を作成することを目的とした調査で、本シート（※）では個人経営を除く法人企業を対象として表示しています（推計値）。

※産業横断調査の二次集計結果を活用

信号に応じた優先的な取り組み

自社業界	<b>拡大傾向</b>	自社業界	<b>拡大傾向</b>	自社業界	<b>縮小傾向</b>	自社業界	<b>縮小傾向</b>
自社	<b>黒字傾向</b>	自社	<b>赤字傾向</b>	自社	<b>黒字傾向</b>	自社	<b>赤字傾向</b>

● 青信号      ● 黄信号      ☀️ 点滅信号      ● 赤信号

業界は拡大傾向、自社事業は黒字傾向のため、供給を増やす取組、単価を上げる取組の優先度が高いのではないのでしょうか。

業界は拡大傾向、自社事業は赤字傾向のため、赤字の原因を確認する取組（本業で稼げていないのか、無駄な支出が多いのか）の優先度が高いのではないのでしょうか。

業界は縮小傾向、自社事業は黒字傾向のため、自社の強みを更に磨く取組、増加傾向の新たな業界を開拓する取組の優先度が高いのではないのでしょうか。

業界は縮小傾向、自社事業は赤字傾向のため、社内で取り組むことができる費用を下げる取組（固定費、変動費の削減）の優先度が高いのではないのでしょうか。

成日：